

Workday ヒューマンキャピタルマネジメント

グローバルな変化の波は、職場やワークフォース、さらには業務そのものを大きく変えようとしています。より重視される点も、スマートな意思決定や社員の貢献意欲などに変わってきました。その結果、プロセスの合理化、従業員へのエンパワーメント、組織間のコラボレーション、チームを戦略的なビジネスイニシアチブと合致させることの重要性が、これまで以上に増しています。

こうした変化の波に、企業が迅速かつ柔軟に対応するにはシステムに頼らざるを得ませんが、オンプレミスのレガシー システムは柔軟性に欠け、サードパーティーのボルトオン型ソリューションは機能が限定的なうえに複雑で高額なインテグレーションを必要とします。

Workday ヒューマンキャピタルマネジメント (HCM) は根本から異なります。単一のデータソース、単一のセキュリティモデル、単一のユーザー エクスペリエンスを備えた単一のシステムとして構築された Workday は、現在および将来の変化するビジネスニーズに対応可能な進化するクラウドベースのシステムを提供します。ユーザー フレンドリーなグローバル システムとして、ブラウザからでもモバイル機器からでも利用でき、常に最新の機能を備えた最新のバージョンを提供します。

あらゆる変化に対応可能な設計

グローバルに対応し、適応力の高い基盤をベースとした Workday は、企業が現在直面する課題に集中しながら、将来起こり得る変化にも対応できるように設計されています。業界や環境、要件などの変化に伴い進化する Workday は、企業の適応力を高めてくれます。

- フレキシブルなフレームワークにより、異なる切り口を同時に用いて組織編成を行えるため、財務と人事の両部門の希望に沿うことが可能です。社員は職務や管理階層により合理的にグループ分けされ、部門、コストセンター、地域などの財務構造に従って組織化されます。
- ビジネス プロセス フレームワークを使用することで、プロセスフローの設定、複製、変更、条件付きロジックの検討や、特定のプロセスに情報を組み込むことができます。これらすべてを IT 部門やコンサルタントの手を借りずに実現できるため、プロセス変更時にありがちな業務遅延やコスト負担に悩まされることはありません。設定可能な条件付きロジックにより、プロセスをグローバルレベルに容易に拡張できるだけでなく、各地域要件にも適合させることができます。
- 革新的なセキュリティ手法こそが、Workday の柔軟性と使いやすさの本質です。Workday は、項目ではなくデータそのものを安全に保護します。一度セキュリティを設定すれば、ブラウザーやモバイルアプリからどのようにアクセスしても、Workday のすべてのデータを管理します。

主な製品分野

- 人事管理
- 組織管理
- ビジネス プロセス管理
- レポート・分析
- 社員およびマネージャ向けセルフサービス
- 休暇・休職管理
- 福利厚生管理
- ACA 管理
- 報酬管理
- パフォーマンスおよび目標管理
- タレント マネジメント
- サーベイ フレームワーク
- 臨時従業員管理
- Workday ファイナンシャル マネジメント (財務管理)、Workday 給与計算 (アメリカ合衆国、カナダ、フランス、イギリス向け)、Workday リクルーティング、Workday ブランディングをはじめ、その他の Workday 製品を含む単一のシステムの一部です。

- レポートおよびアナリティクスは、Workday にあらかじめ備えられた機能のため、データに設定したセキュリティもそのまま継承されます。レポート、ダッシュボード、スコアボードは、簡単に設定、変更、アップデート、公開が行えます。また、トランザクションデータと分析データは同一直接システム内にあるため、Workday 内のどこからでも内容の掘り下げが可能で、データに基づいたアクションを起こすことができます。トランザクションとアナリティクスの垣根を取り払ったことで、臨機応変に、かつリアルタイムで、しかもデータの正確性が限りなく高い組織管理が可能になります。
- モバイルファーストの設計アプローチにより、わかりやすく適切な操作が可能です。ひとつのアプリケーションで、Workday のすべての機能にアクセスできます。同期は常に行われ、モバイルアプリでの変更は即座にブラウザバージョンに、その逆も同様に反映されるため、モバイルとデスクトップの切り替えを自在に行えます。
- 積極的コンプライアンス監視により、新たな法規制が施行されるより前に、関連する重要な機能拡張が確実に行われます。すべてのお客様は常に最新バージョンを使用でき、変更があった場合も随時システムに反映されます。
- 機械学習機能は、Workday の基盤の一部として提供され、カスタマイズされたエンタープライズ エクスペリエンスを実現し、すべての場面で的確で迅速な意思決定を可能にします。

米連邦契約遵守プログラム室 (OFCCP) が企業向けに新しい就労不能申請書を発行した際、発行からわずか 4 日後には、その書類の新たな要件をシステムに反映させています。

グローバル ワークフォースの管理

人、組織、業務、ビジネスイベントをひとつのモデルに集約することで、Workday はグローバルな一貫性を保ちながら、地域の特性にも対応します。こうしたグローバルな視点によって、Workday は国境やビジネス プロセスを越えたインサイトの提供を可能にしています。

ローカルで運用、グローバルに管理：Workday は、米商務省が定めるプライバシー シールド自己認証に当初から参加しているベンダーとして、欧州の個人情報を米国に移す際のプライバシー シールドを遵守しています。さらに、Workday のコンプライアンス プログラムによれば、既存のコントロール フレームワークを利用することで、EU 一般データ保護規則 (GDPR) に遵守することが可能です。また、ロシア データ Workday プライバシー 法の要件への対応には、Unistaff 社の組込みコネクタを採用しています。内定通知から契約、労働協約、試用期間管理などのプロセスへの対応も基本機能に含まれています。さらには、適切な人財配置イベント (退職、転職など) に関する労使協議会との共有事項や、北米地域以外で頻繁にみられる転職エージェントがユーザーとなる場合の機能なども提供しています。

グローバル ワークフォースを完全に把握：200 以上の国と地域における社員プロファイルのサポートでは、国固有の多様性やコンプライアンス要件に対応しているため、ローカルとグローバルの両面から適切なデータを追跡することができます。

あらゆるタイプの従業員を管理：Workday では、契約社員、一般社員、請負業者、退職者など、企業組織とさまざまな関係にある人財を容易に管理できます。

すべての従業員のための Workday

Workday は直感的で使いやすいシステムです。組織全体に及ぶプロセスフローに対し、関係者はピンポイントで必要な情報にアクセスしアクションを起こせます。例えば給与/賞与の変更プロセスでは、報酬管理担当者だけでなく、戦略立案段階から承認やトランザクションの実行に至るすべての関係者に応じた設計がされています。機械学習機能は、推奨案の提示や最も関連性の高い検索結果の表示を可能にし、すべての社員にカスタマイズされたエクスペリエンスを提供します。社員、請負業者、マネージャ、エグゼクティブ、取締役、ビジネスパートナー、システム担当者、転職エージェント、求職応募者、退職者や会計検査員に至るまで、Workday はあらゆる人財向けに開発されました。

人事部門の機能向上

人事部門は、あまりにも多くの管理業務やトランザクション処理に時間を費やしています。Workday を使えば、より重要なタレント戦略、社員の職務経験立案や長期的な成長計画に集中できるようになります。加えて、社員、マネージャ、エグゼクティブの扱う情報やトランザクション処理に柔軟性が生まれ、貴社の人事組織を効果的かつ効率的にするインフラをもたらします。

- 容易に設定可能なビジネス プロセスにより、人事部門はグローバルな一貫性を保ちつつ、現地仕様のサポートが可能です。
- 豊富なアナリティクスにより、包括的なタレントインサイトが得られ、コーチングや意思決定へつなげることができます。
- 管理業務、タレント、教育研修、採用、給与計算などに 対応する単一のアプリケーションにより、他に例を見ない 閲覧性、シンプルなトランザクション、部門を越えたデータの やり取りを実現します。
- 組み込み型分析機能により、関連情報は直接トランザクション プロセスに反映されます。これにより、組織全体で事実に基づく意思決定が可能になります。
- 現在のワークフォースのスキルと能力はすべて閲覧でき、 タレントの内部調達も容易になります。

- すべての社員情報が一元化されるため、タレント計画の立案が容易に行え、タレント プール構築、タレントのキャリブレーション、グローバルとローカルの両レベルにおける後継者育成状況のモニタリングも簡便に行えます。

「Workday は、HP 社員の働き方を大きく 変えるプロダクトです」

—Scott Spradley,
CIO Global Functions, Hewlett-Packard

社員の貢献意欲を向上

従業員にとって、福利厚生の登録、経費レポート、有給休暇申請、給与計算といった人事関連のトランザクションを管理することは始まりにすぎません。Workday なら、社内での成長や成功につながる機会を自分自身で見つけることができるため、社員の満足度が高まり勤続意欲を引き出すことができます。社員が、あらゆる場面でフィードバックを受け、成長機会を理解し、メンターやガイダンスを求め、自由に学び、自らのキャリアの方向性に必要なスキルを開発すること。人として、また職業人としての成長は、これらの能力を通してたらされます。入社から、異動、研修、昇進といった社員のライフサイクル全体を通して、Workday は、デスクトップかモバイルかを問わず、社員としての体験をより充実したものにできるよう継続的にサポートしていきます。

- 直感的なモバイルアプリを使用することで、社員は時間と 場所にとらわれることなく情報にアクセスでき、人事 トランザクションや研修リソースを実行できます。
- 同僚との間でスキルやフィードバックをすばやく共有したり、 特定の専門性を持つ従業員を見つけ出すことが可能です。
- Opportunity Graph などの革新的な機能により、潜在的 な異動や昇進の可能性を検討したり、メンターと連絡を 取ることができます。
- アンケートにより、社員の貢献意欲を高めるための重要な データを取得することができます。

マネージャへのエンパワーメント

Workday は、効果的なチーム管理に必要な閲覧性、コントロール、コラボレーションなどをマネージャに提供します。マネージャにとって、Workday のインサイト、プランニング、トランザクション、コーチング、能力開発などの側面が頼りになることでしょう。通知とアラート機能により業務遅延を防げるため、企業活動を停滞させることもありません。また、マネージャが移動中の時は、モバイル機器から直接情報にアクセスし意思決定でき処理を行えます。

- ・ダッシュボードとレポートによって、主要な評価やメトリックスに関するインサイトを速やかに把握できます。Day-one レポートでは、配属時に重要なマネージャ向けレポートが提供されるため、マネージャには Workday の価値をすぐに実感いただけます。
- ・プロセスフローに直接組み込まれた分析機能は、アクションポイントでの意思決定に役立ちます。従業員データを包括的に把握可能なため、マネージャは情報にもとづくガイダンスやコーチングを行え、部下の勤続意欲を高めることができます。部下が興味を持つキャリアや業務を知ることで、対話にも方向性を持たせることができ、部下のスキル、要望、フィードバックにもとづいたプロジェクトの配置や、研修、能力開発の機会を推奨することができます。
- ・通知とアラート機能により、マネージャは任意の指標について定期的にアップデートを受け取ることも、特定のしきい値に達したときに通知を受け取るように設定することもできます。マネージャは、自分の組織をより詳細にモニターできるばかりでなく、最重要課題に集中的に時間を割くこともできるようになります。
- ・Workdayには、職務内容の変更や新規採用、昇進の処理が禁止されるような報酬プロセスのロックアウト期間がありません。たとえ考課評価の期間中であっても、いつでも、社員の異動やチームの再編成、報酬のアップデートなどを実行することができ、それらは適切に考課プロセスに反映させることができます。

- ・モバイル アプリもブラウザ バージョンと同様のアクセスとセキュリティ設定に基づいており、ビジネスのスピードに合わせてあらゆる対応が可能です。

エグゼクティブの一歩先を照らす

エグゼクティブが組織の方針を策定する時も、Workday がナビゲートします。組織全体とチームの目標を整合させ、容易に設定可能なダッシュボードは進むべき方向を導き、スコアカードが計画の進捗状況を示します。

- ・スコアカードは、組織にとって最も重要な指標に基づいて目標をどのように実行しているかを示します。チームは、パフォーマンスの状況説明を付記することができます。
- ・パフォーマンスと目標を、主要なマイルストーンや成果と連動させることができます。
- ・後継者育成プランおよびタレント プールでは、貴社の組織における強みに加え、組織に影響が及ぶ前にスキルギャップを埋め、タレント不足を補う必要のある場所を明らかにします。
- ・動的レポートを使用するとエグゼクティブは全体を俯瞰できるだけでなく、ドリルダウンにより細部まで検討したうえでアクションを起こすことができます。
- ・Workday に外部データを取り込むことで、より包括的なインサイトを提供することも可能です。



ワークデイ株式会社 | 代表: 03 4578 0000 | workday.co.jp